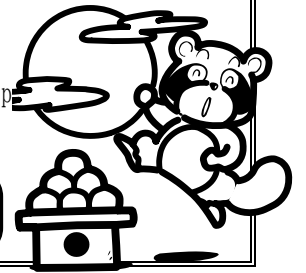


# 六つの華だより

糸魚川市立磯部小学校  
平成26年9月10日(水)No.7  
E-mail isobesho@itoigawa.ed.jp  
URL <http://www.itoigawa.ed.jp/isobesho/>



美しい日本海 豊かな自然 子どもたちの笑顔いっぱい磯部小

## 「優しさ」「優しい」という言葉の意味を考えたい 校長 高橋 雅史

現代は「優しさ」の時代。何に対しても、どこでも、「優しい」という言い方が溢れている時代です。かつて、「あ～よかったな あなたがいてー『優しさ』という温かい貯金ー」という講演をお聞きしたことがあります。講師は、兵庫県西宮市で人権教育に取り組む教師達をサポートしている仲島正教さんです。この講演では下のような「優しさ」について教えていただきました。



「優」の字のつくり「憂」の意味は「なげき」「悲しみ」「心が晴れない」「切ない」、そんなやるせない気持ちを表した文字です。へんの「亻」(にんべん)は、人を表します。その「亻」と「憂」が組み合わされて「優」という字が形づくられています。

なげいている仲間、悲しんでいる家族、心の晴れない友達、そして、切ない気持ちでいっぱいの人。その隣にいつもいてくれる人、それが本当の「優しさ」のある人間です。

子どもたちのもつ「優しい人」のイメージは、どちらかというところ「どこかへ連れていってくれる親」「何でも買ってくれる祖父母」「宿題をださないでくれる先生」「お小遣いをくれる親戚の人」・・・、などかもしれません。

もしかしたら、「・・・してくれる」という言葉に表されるように、自分に対して楽しい思いをさせたり、プラスのメリットを与えたりする人たちを「優しい」と思っているかもしれません。特に、物を買うなど物理的に“与えられる”行為を、子どもたちが「優しい」行為と感じてしまうことは、ある意味では、とてもこわいことだと思えます。

テレビ、ゲーム、パソコン、インターネットなど、子どもを取り巻く環境は物理的にはとても豊かで、子どもが家族の中ですべき役割も少なくなった現代です。そんな中で、「買わずに、がまんしなさい」という親、「自分でしなさい」という祖父母、「宿題は必ずしてきなさい」という教師、「そんなことは、絶対に許しません」と叱ってくれる地域の方々。

本当はそういう大人こそ、子どもを人間としてよりよく成長させようとする強い意志をもった「優しい大人」ではないか、そんな思いをもちました。大人が「優しさ」の意味をもう一度考える時が来ているのかもしれない。

子どもたちが、物理的に物を与えられることを「優しい」と勘違いしては大変です。そして、「切ない」「やるせない」「悲しい」・・・そんな、「憂」の隣にあるのがゲームやスマートフォンの画面で、それらしか気を紛らせることができないのでは、おそらく何の解決にもつながりません。子どもたちには、身近な人たちの「憂」の隣にいつもいてくれる「人」、本当の「優しさ」をもった大人に育ってほしいといつも願っています。

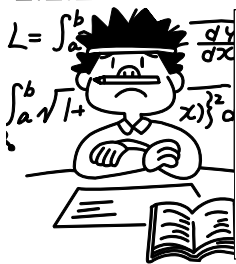
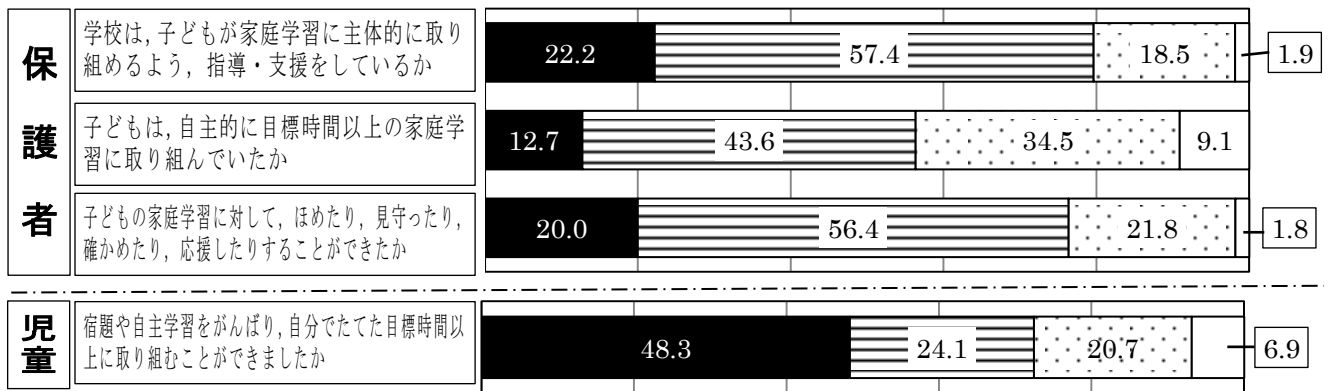
# 1 学期学校評価をうけて



1 学期末に保護者の皆様から学校の様々な取組や子どもたちの様子等について学校評価アンケートに答えていただきました。また、子どもたちからも振り返ってもらいました。その中から 2 学期以降に重点的に改善していかねばならない点を中心にデータと改善策等についてお知らせいたします。

とても思う
  そう思う
  あまり思わない
  思わない

## 〔家庭学習について〕

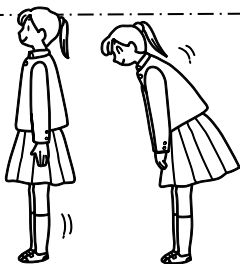
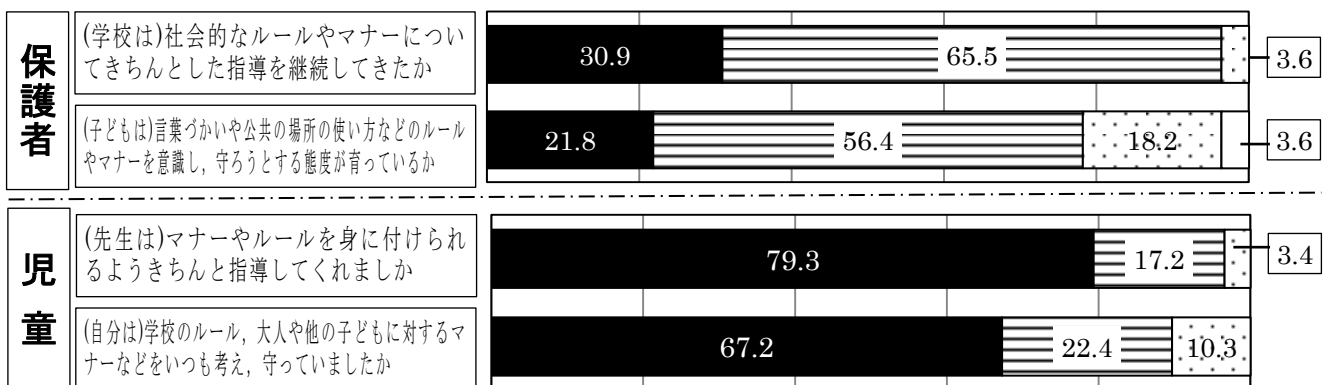


## 〔2 学期以降学校で重点的に取り組んでいくこと〕

○家庭学習の大切さや「家庭学習の手引き」の使い方などについて、もう一度学校で丁寧に指導したいと思います。また、がんばっている様子などを様々な方法で紹介する工夫等もしていきます。

○ご家庭でも強調句間だけでなく、継続的に子どもたちが一生懸命家庭学習に取り組むよう応援したり励ましたりしてあげてください。

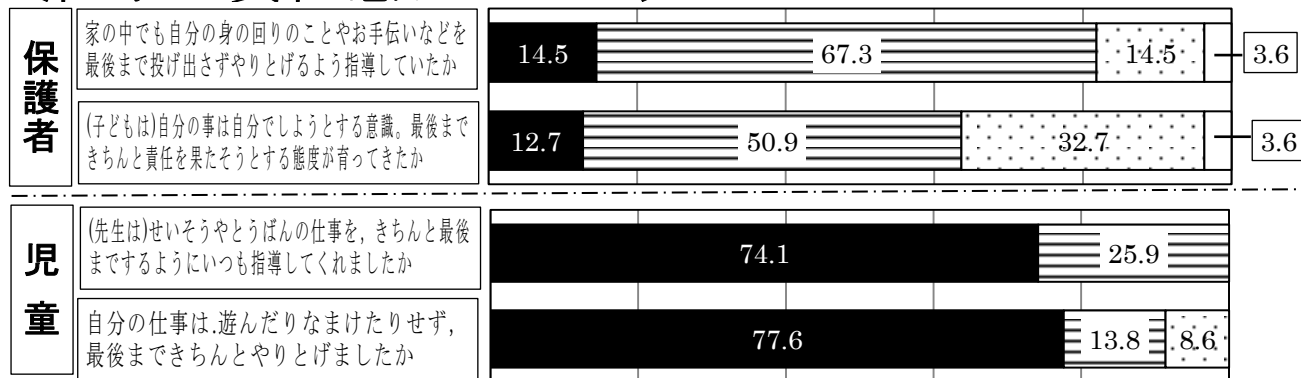
## 〔あいさつ、言葉づかいなどのマナーについて〕



## 〔2 学期以降学校で重点的に取り組んでいくこと〕

○特にあいさつや言葉づかいなどは、マナーもあってか年度当初よりマイナスに流れている傾向が見られます。児童会活動などで子どもたちが主体的に取り組むよう工夫するとともに、あいさつや言葉づかいの大切さに子どもたち自身が気づき、日常化するように指導していきます。

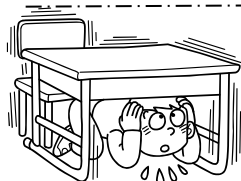
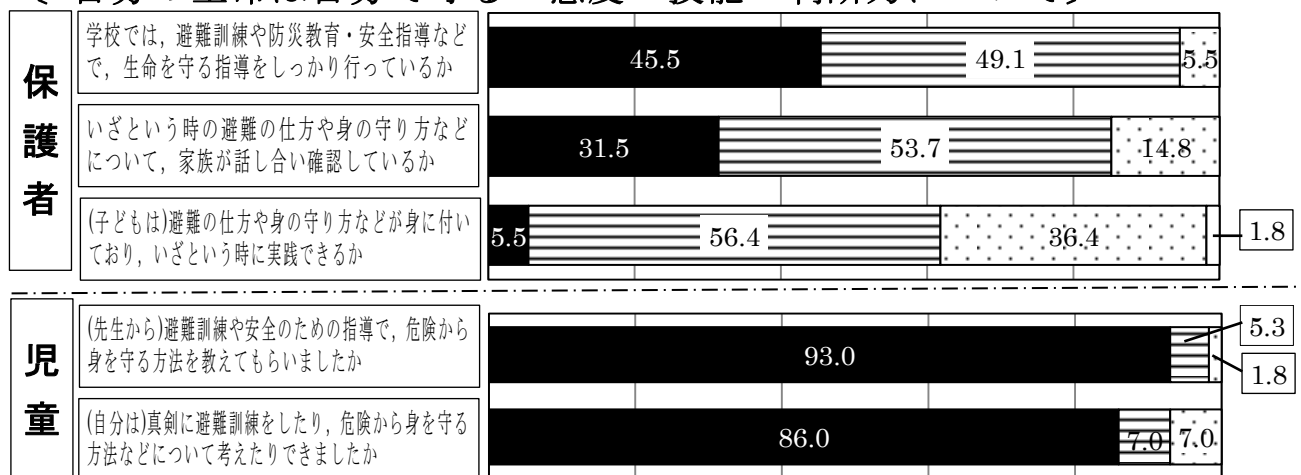
## 【仕事・責任感について】



### 【2学期以降学校で重点的に取り組んでいくこと】

○責任をもってやりとげることは、生きていく上でとても大切なことであり、学校でも根気強く指導していきます。各ご家庭でも手伝いなどで「自分の責任はきちんと果たす」ことを大切にしていってください。

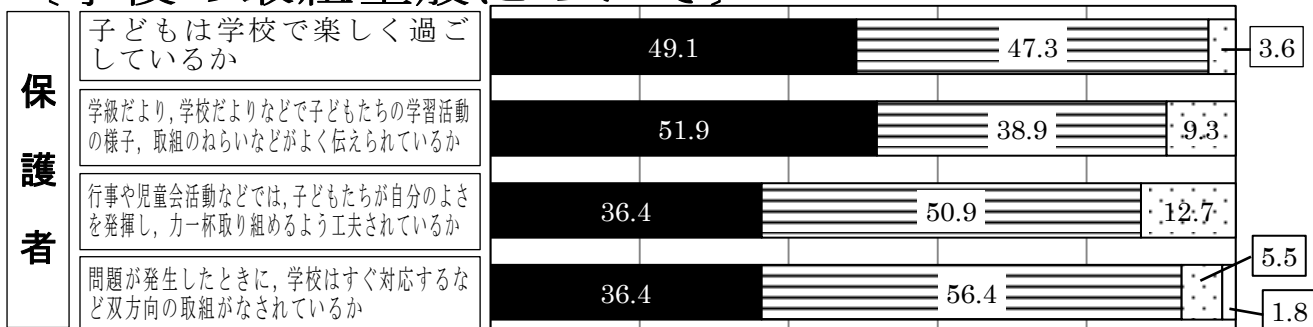
## 【“自分の生命は自分で守る”態度・技能・判断力について】



### 【2学期以降学校で重点的に取り組んでいくこと】

○子どもたちの自己評価と保護者の皆様の評価はずいぶん違い、子どもたちの自己評価が甘めのように少し気になります。防災教育を核にして「自分の生命は自分で守る」ことのできる力を育てていきます。

## 【学校の取組全般について】



○それぞれの項目で、学校の取組をより改善していかなければならないことが見えてきました。特に、子どもたちがやる気・本気で取り組めるような児童会や学校行事になるよう工夫すること、問題等が起きた時に、家庭と連絡をとりながら素早く適格に対応することなどを今後とも心がけていきたいと思えます。

# 校長室から

## 2学期も よろしくお願いします



夏休みが明けて、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。

2学期は、マラソン大会や文化祭、音楽発表会など様々な行事や活動が予定されています。また、学習が最も充実する季節を迎えます。

それぞれの場面々々で子どもたちが精一杯力を発揮できるように、学校でもしっかりと準備をして取り組ませていきたいと思えます。

保護者の皆様、地域の皆様から取組への忌憚のないご意見をいただくとともに、2学期の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



### 2学期のめあて紹介



始業式に、各学年の代表が2学期にがんばりたいことを発表しました。



#### 【二年 内山 まいる】

わたしが二学期にがんばりたいことは、二つあります。

一つめは、国語です。わたしは、かん字やかん字のかきじゅんをまちがえることが多いので、これからは、まちがえることがないように、しっかりとがんばりたいです。

二つめは、ドリルをいかに多くにすすめ、いかに早くできなくて、しめきり近くにあわててやったので、二学期は、まい日こつこつすすめます。わたしは、この二つをがんばります。

#### 【五年 塚田 岳人】

ぼくが、新学期がんばりたいことは二つあります。

一つ目はドリルです。ぼくは一学期は、早く終わらせることができなかったで、二学期はドリルを早く終わらせたいです。

二つ目は、わすれ物をしないことです。ぼくは、一学期わすれ物が多く、学校に取りに来ることもありました。だから、二学期は、わすれ物をなくしたいです。ぼくは、この二つをこめあてにがんばっていききたいです。

#### 【三年 佐藤 驍人】

ぼくが夏休みに一番楽しかった事は、家族旅行で、ふくい県の恐竜はくぶつ館へ行ったことです。とくに心に残ったのは、ネジで作った恐竜です。ぼくは、トリケラトプスを作りました。上手にできました。

#### 【四年 井田 紘】

わたしが2学期にがんばりたいことは、3つあります。

一つ目は国語です。わたしはよく漢字の書き順をわすれて、てきとうに書いたりしてしまっているので、ちゃんと書き順を覚えたいです。

二つ目は、テストです。たまたに見直しをしないことがあります。だから、うっかりミスが多いので見直しをさぼらずにしたいです。

三つめは、ドリルです。いつもさいごにたまってしまおうで、こつこつ進めたいです。とくに計算ドリルがたまってしまいます。二学期は、漢字ドリルと計算ドリルを両方ためないようにしたいです。二学期は、この三つをがんばりたいです。

次は、二学期にがんばりたいことです。それは、コンパスできれいな円を書けるようになることです。コンパスはじめて使う道具なので、夏休みに少し練習しました。でも、あまり上手にできません。だから、早く上手になりたいです。